

研究利用管理番号

1803008

## 研究内容の説明文

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| さい帯血提供者説明<br>用課題名※<br>(括弧内は申請課題名) | さい帯血を用いたヒトの免疫を持つマウスの構築<br>(ヒト臍帯血由来造血幹細胞を用いた免疫系ヒト化マウスの構築) |
| 研究期間(西暦)                          | 2018年9月～2028年3月  |
| 研究機関名                             | 徳島大学   |
| 研究責任者職氏名                          | 教授 野間口 雅子  |

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

## 研究の説明

- 研究の目的・意義・予測される研究の成果等  
目的：さい帯血由来細胞をマウスへ移植し、外因的(投与)もしくは内因的(遺伝子改変)処置等を行うことで、HIV-1/AIDSの基礎研究を行うためのヒトの免疫系を持つマウスを構築します。  
意義：ヒトのHIV-1感染に近い状態でウイルス学的解析・免疫学的解析が可能となります。  
予測される研究の成果：ヒト個体内のHIV-1複製を反映するようなマウスを構築でき、予防法や治療法の開発に繋がると予測されます。
- 使用するさい帯血等の種類・情報の項目  
さい帯血等の種類：調製保存に至らないさい帯血  
さい帯血等の情報：なし
- さい帯血等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名  
共同研究機関はありません。
- 研究方法《さい帯血等の具体的な使用目的・使用方法含む》  
さい帯血等のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。  
《研究方法》  
2018年9月から2022年3月までに提供されたさい帯血から造血幹細胞を分離し、マウスに移植します。  
マウスへサイトカインや成長因子(IL-3等)の投与もしくは遺伝子を改変することによりHLAやヒトサイトカイン(増幅因子を含む)を導入、且つ造血幹細胞の投与方法を合わせて検討し、ヒト免疫系が構築されたマウスを作製します。ヒトの免疫系を構築後にHIV-1を感染させます。

- 5 さい帯血等の使用への同意の撤回または研究使用の停止について  
研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回及び研究使用の停止が出来ます。
- 6 上記5を受け付ける方法  
日本赤十字社近畿さい帯血バンクへさい帯血を提供され、同意の撤回もしくは研究使用の停止を希望される方は当該さい帯血バンクまでご連絡下さい。  
電話：06-6962-7056

本研究に関する問い合わせ先

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 所属   | 徳島大学大学院医歯薬学研究部微生物病原学分野  |
| 担当者  | 駒 貴明                    |
| 電話   | 088-633-9232            |
| Mail | tkoma@tokushima-u.ac.jp |